

## 第154回 番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

日時 令和4年3月23日(水) 午後1時30分～ 清水マリントーミナル2階会議室

審議委員 角替弘志委員長、望月紀久朗委員 の2名

(欠席) 伊藤公一委員、小塚昭宏委員、大塚 泰委員、岡嶋基晴委員 の4名

エフエムしみず出席者 釜下賢一郎、佐野勝美、是永真由子

審議対象番組

マリパルほっとライン『コトバBOX～コトバのコバコ～』

2月1日(火)午後1時15分～午後1時45分 放送

番組進行/山下ともち

出演者/ 曾根 満氏(静岡市民俳句大会実行委員長)

<今回審議>

マリパルほっとラインの『コトバBOX』は、各パーソナリティが“コトバ”に拘ったコーナー。“コトバのコバコ”は、俳句の時間。

講師の曾根満氏は、元教諭でありながら俳句結社「万象」の主宰者で、静岡市民俳句大会実行委員長を務める傍ら、SBS学苑講座や歴史教室の講師などで活躍中。

コーナーは昨年4月～第一火曜日にスタートし、リスナーからの作品の添削や山下の作品のチェックなどを行い、季節の移ろいを表現する俳句の楽しさを伝えています。

上記番組を収録した放送を聴いていただき、ご意見を伺いました。

角替委員長

審議挨拶。今回は決算年度末と、新型コロナウイルス蔓延防止の解除明け間もないということで、出席率が少ないので、望月委員からご意見を伺います。

望月委員

ラジオですと、新聞やテレビの俳句と違い、字面が見えないので、俳句のイメージがわきにくいと思いました。面白い内容ではあると思いますが解りにくい。リスナーからの応募数はわかりませんが、俳句に興味のある人達は聴くと思います。只、実際俳句を寄せる人は常連さんだと思います。一般の人達に広がりを見せるように一工夫してもらいたいと思いました。

例えば、ラジオでは字面が解らないので、その分もう少しゆっくり読上げることも必要だと思います。また、曾根先生が読上げるのではなく、パーソナリティーが読上げる方が俳句に馴染みやすいような気がします。

角替委員長

新聞の俳句欄だと句評が限られてしまいますが、放送となると論理的かどうかはわかりませんが、書き言葉と話し言葉を使えるので解説には効果的だと思います。

選者の方の判断と読者、リスナーの判断は違うことがあると思います。また季語も結社によっては扱いかたが違ってきますね。この「万象」ではバレンタインは季語となっています。

一般の人達には字面もわからなく理解しにくいので、番組の中で旬のイメージがきちんと伝わるように工夫をされた方が良いと思いました。書き言葉ではなく、喋り言葉で俳句を作ること、若い方が俳句の世界に興味を持ってきていることも話題になっています。このような現代風な季語を取り入れることも若い人たちが俳句の世界に興味を持ってきているかもしれませんね。俳句に興味がある人達には良い番組だと思います。

以上で番組に対する意見を終わります。

<今後の特別番組>

□Jリーグ中継

- 4/10(日)13:00～ vs ガンバ大阪、
- 4/29(金・祝)14:00～vs サンフレッチェ広島
- 5/7(土)14:00～ vs 川崎フロンターレ
- 5/21(土)14:00～ vs 名古屋グランパス
- 5/25(水)19:00～ vs FC東京

□Stay With U KNOW

- 4/30(土)19:00～20:00 放送
- 韓国出身のボーカルユニット東方神起のリーダー・ユンホの特集特別番組。

□新スタッフが4月以降登場

- 昨秋の一般公募で2名の新スタッフを採用し、4月以降レギュラー番組に登場。
- あさひりおは、4/4(月)～「トワイライト・ナビ」月・火曜日パーソナリティを担当。
- 出口由奈は、7月～「モーニングパル」木・金曜日パーソナリティを担当。

角替委員長は今回の第154回の番組をもって、開局以来の番組審議委員を辞任することになりました。今後番組審議委員を新たに1名お願いすることとなり、次回の番組委員会までに決めることになりました。

次回番組審議会日程 (予定) 5月20日(金) 清水マリンターミナル2階会議室

(了)